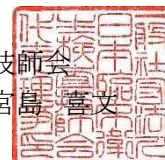


3 日臨技発第 71 号
令和 3 年 5 月 21 日

都道府県臨床(衛生)検査技師会
会長 各位

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
代表理事会長 宮島 喜文



臨床検査技師による新型コロナウイルスワクチンの接種の要望について

謹啓 平素は、当会の事業運営にご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の感染防止並びに感染者の重症化防止のため、政府は全国民約 1.1 億人を対象に予防接種の実施に着手された。

このように全国民に対してのワクチン接種は我国にとって初めての経験であり、コロナ対応により医療提供体制もひっ迫している中において、接種を行う医師、看護師等を確保することは、当初から相当の困難が予想された。接種当初、へき地等の看護師不足も指摘されたが、大都市においても同じ状況が発生している。

政府は 3 回の緊急事態宣言を発出したが、感染者は全国的に増加し、新型コロナウイルス感染症(異変株)が発生し、収束を図るためにも早急なワクチン接種が必要であることから、菅総理は、東京、大阪の大規模接種センターが始まることを踏まえ、1 日 100 万回の接種を目標とし、7 月末を念頭に、希望するすべての高齢者に 2 回の接種を終わらせるよう、政府としては、あらゆる手段を尽くし、自治体をサポートしていくと述べられた。

こうしたことから、接種者の確保が必要であることから、政府の検討会において、一定の条件下において歯科医師が接種することが承認された。

このような状況から、医師、看護師を除き、コロナワクチン接種が出来る医療職種は臨床検査技師が一番適していると判断し、厚生労働大臣に対して、別添により令和 3 年 5 月 19 日に緊急要望をいたしましたので、御承知ください。

なお、各位におかれましては、所属会員対して、周知いただくとともに、現場においても機運を高めていただくようお願いします。

謹白

【担当】

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
TEL 03-3768-4722 FAX 03-3768-6722
E-mail gyomuka@jamt.or.jp
担当執行理事 深澤恵治 事務局 篠崎隆男

令和3年度

新型コロナウイルス感染症に関する緊急要望書

- **新型コロナウイルス感染症の要望事項**
 - ・ 臨床検査技師によるワクチン接種実施

新型コロナウイルス感染症に対する体制整備の要望

臨床検査技師によるワクチン接種実施

【現状と課題】

- ✓ 今般のCOVID-19感染拡大に対応するためには、ワクチン接種により多くの**国民が免疫を獲得**することが喫緊の課題である。
- ✓ しかし全世界と比較し、日本の**ワクチン接種は進んでいないのが現状**である。
- ✓ 課題として、ワクチン接種実施者の確保が挙げられており、海外では、緊急的なことからワクチン接種実施者の確保は柔軟に行なわれており、国内においても大規模ワクチン接種計画に伴い講習等を受講することにより人材の確保が急務となっている。



【対策案】

- ✓ **臨床検査技師によるワクチン接種**を行えるようにしてはどうか。
- ✓ 現行法令上では実施できないが、**臨床検査技師は採血業務を実施**しているため、**現行業務の隣接業務として整理**できないか。



臨床検査技師は、四肢表在の静脈採血のみならず採血時に発生する合併症(アナフィラキシーショックを含む)などの医療安全や感染管理についても教育を受けている。そのため**筋肉内注射の研修を受けることにより早期に実施可能**と考える。



一日も早いワクチン接種は、国民の願い・希望である。
臨床検査技師は、PCR検査のみならずワクチン接種においても貢献していきたい。